

所在地:	静岡県湖西市境宿555番地		
敷地面積:	81478m ²	延床面積:	53566m ²
設立:	2004年10月	従業員数:	522名
ISO14001取得:	1997年9月	ISO14001最新更新:	2010年4月
主要製品:	自動車用鉛蓄電池、鉛EV電池、制御弁式鉛蓄電池		
環境コミュニケーション:	10年度		
情報開示:	1件	工場見学:	0名
問合せ:	人事・総務グループ 総務環境施設チーム	地域貢献活動:	16件
		TEL:	053-577-1131



ごあいさつ

パナソニック ストレージバッテリー(株)は鉛蓄電池を通じて、エネルギーソリューション事業を拡大し世界に貢献することを基本の考え方としています。カーエレクトロニクスや新エネルギー分野で、人々の暮らしを支える重要な電源である鉛蓄電池の開発、製造、販売を通じて社会貢献していくとともに、環境配慮型社会を創造していくなどの活動を通じて、地球環境との共存を図っています。

Panasonicグループは、環境経営をグローバルに推進していくことを宣言しています。省エネルギー推進によるCO₂排出の削減、廃棄物発生量の削減や社内リサイクル、化学物質の排出削減の推進など「グリーンファクトリー」を目指した取組みを継続しております。

また製品では、省資源、省エネNo.1商品の開発や、さらには、創エネルギー、蓄エネルギー分野で貢献できる蓄電池の開発を進めており、先端技術で環境配慮型社会を創造する鉛蓄電池メーカーを目指しております。



PSB環境管理責任者
松浦 浩昭

2010年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
(1)CO ₂ 排出量を20,684トン以下にする。 (2)エネルギー使用/生産数量原単位を前年に比べ1%以上低減する。	生産が前年より7%増加しましたが、CO ₂ 排出量は前年より約2%の増加に抑制して、計画より約7%削減することができました。また、エネルギー原単位は、5%下げることができました。
排出物の発生量を生産数量原単位で前年に比べ1%以上低減させる。	生産工程の改善による不良削減や、歩留まり向上等の取組みの結果、原単位を8%低減することができました。
総排水量を生産数量原単位で前年に比べ1%以上削減する。	水を使用する極板工程の改善、水の使用効率が高い充電設備への充電シフト、空調設備の改善等により原単位で6%削減できました。

製品・環境配慮ポイントの紹介



サークラ(CIRCLA)

環境配慮型の始動用バッテリー。軽量・長寿命・再生材利用を特徴としたモデルです。

製品の環境配慮ポイント

- ・鉛使用量を削減し省資源を実現し、さらに車両重量を軽減し省燃費にも貢献します。
- ・再生鉛、再生樹脂、再生紙を使用することで資源の有効利用に貢献します。
- ・2010年度モデルより、充電回復性能を向上させ充電制御車の燃費向上に貢献します。



EV用制御弁式鉛蓄電池(長寿命サイクル用EV鉛バッテリー)

電動フォークリフトや太陽電池を併用した蓄エネルギー用途など、サイクルサービス用電池として長寿命、急速充電、高出力を特徴とした次世代鉛電池です。

製品の環境配慮ポイント

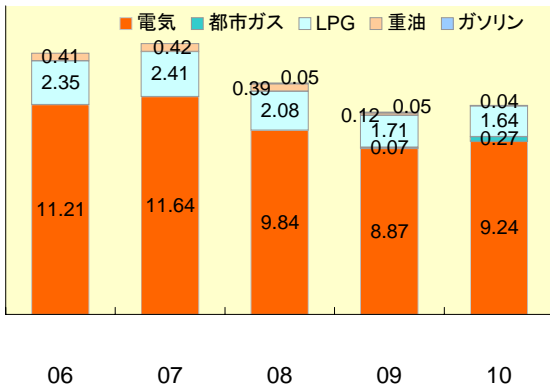
- ・メンテナンスフリーで補液不用。液を溢さず汚さない、汚れない。
- ・急速充電可能で、電動フォークリフトの稼働時間を延長します。エンジンフォークリフトからの代替を加速し、CO₂の削減と省エネルギーへ貢献します。
- ・太陽電池と併称した蓄エネルギー用途へも展開し、再生可能エネルギーの普及推進に貢献します。

[→製品情報へリンク](#)

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 010: 20010年4月1日～2011年3月31日

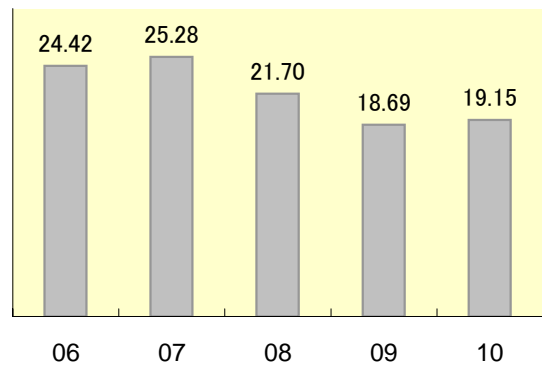
エネルギー使用量

単位: 千kl



CO2排出量

単位: 千t



自然エネルギー使用量 10年度 (年度)

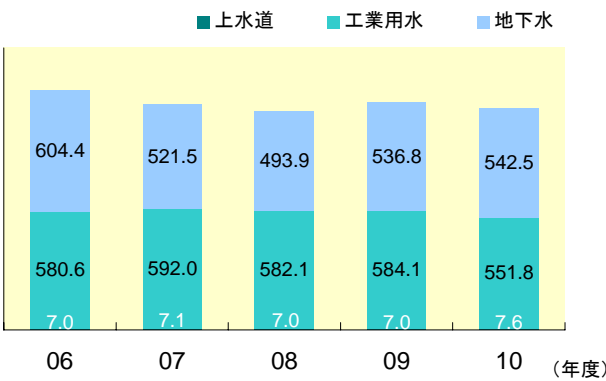
太陽光発電 2.00 千kW/h

算出基準について

CO2排出係数は、
電気: 0.410kg-CO2/kWh、都市ガス: 2.290kg-CO2/m3、LPG: 3.000kg-CO2/kg、重油: 2.710kg-CO2/L、ガソリン: 2.322kg-CO2/L。

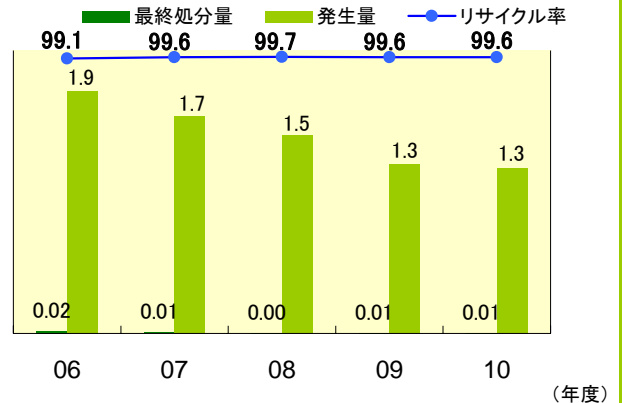
水の使用量

単位: 千m³



産業廃棄物・有価発生物

単位: 千t、%



循環的使用量 10年度

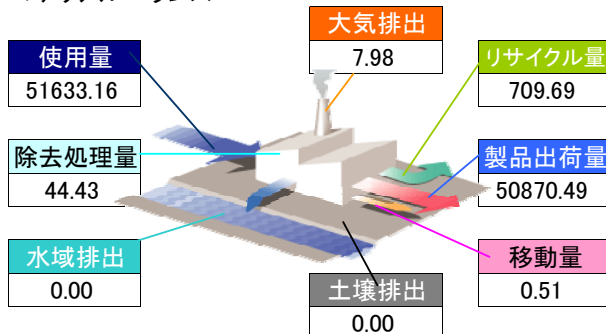
500,000.00 m³

化学物質

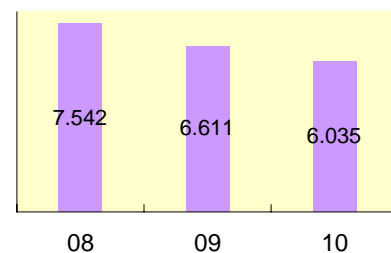
単位: t

マテリアルバランス

10年度



重点削減物質 排出・移動量



パナソニックグループの工場化学物質管理について

http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical_substance/

環境パフォーマンスデータの特記事項

今年度の生産量は、前年より増加しましたが、化学物質の排出・移動量は、工程改善の効果により前年に比べて減少しています。

環境法令等の順法状況 10年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm ³ /h	N/A					
		N/A					
		N/A					
NOx	ppm	吸収式令温水機 RA	150.00	40.00	20.00	25.00	2回/年
		吸収式令温水機 RA	150.00	40.00	19.00	23.00	2回/年
		鉛溶解炉	180.00	100.00	28.00	32.00	2回/年
ばいじん	g/Nm ³	吸収式令温水機 RA	0.05	0.05	0.00	0.00	2回/年
		吸収式令温水機 RA	0.05	0.05	0.00	0.00	2回/年
		No.14 鉛溶解炉	0.15	0.10	0.01	0.02	2回/年

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	最終放流口	10.00	8.00	0.96	1.90	1回/週
BOD	mg/l	最終放流口	10.00	8.00	0.51	2.50	1回/週
窒素	mg/l	最終放流口	60.00	60.00	0.60	0.80	1回/月
リン	mg/l	最終放流口	8.00	8.00	0.13	0.18	1回/月

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 北側敷地境界	63.00	63.00	52.00	54.00	1回/年
		夜 北側敷地境界	53.00	53.00	51.00	53.00	1回/年
振動	dB	昼 北、南側敷地境界	65.00	65.00	35.00	37.00	1回/年
		夜 —					

法令規制値: 法または条例および協定の規制する値

N/A: 法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

報告すべき事項はございません。

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません。	

環境方針

環 境 方 針

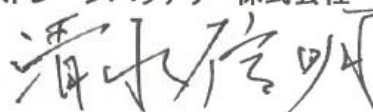
パナソニック ストレージバッテリー㈱は、多くのエネルギー、資源、化学物質を使用した製品である鉛蓄電池の開発、製造、販売を通じて社会に貢献している。
この認識に立って、地球環境の保全、改善を継続的に行い健全な事業活動を行う。

- (1) 上位組織であるパナソニック株式会社及びエナジー社グループの環境方針に則り、環境保全活動に係る方針、規程、基準類を整備し、管理の向上を行う。
- (2) 環境に係る法律、県条例、市条例、及び協定を順守し、またこれらを基にした自主管理基準を設定して、環境保全を推進する。
- (3) 当社の商品、モノづくり、サービスの事業活動において、以下の項目を環境活動の重点テーマとして取り組む。
 - 主材料の効率的な使用及び再資源化材料を使用する等環境に配慮した設計を行う。
また電池寿命の向上、軽量化、燃費向上に貢献する鉛蓄電池の開発を推進する。
 - 市場における鉛蓄電池の再資源化に努め、資源の有効利用を推進する。
 - 電力、ガス(LPG、都市ガス)の使用量削減や生産性向上等による省エネルギーを推進し、CO₂排出量の削減に取り組む。
 - モノづくりに際し、ロス低減による資源投入量の削減、再生資源の利用拡大、廃棄物の排出量削減及びリサイクル率の向上等を行うことにより資源循環型のモノづくりを推進する。
 - パナソニックグループにおける削減対象化学物質の排出・移動量を削減するとともに管理の向上を図る。
 - 環境保全設備の維持管理、向上を行い、大気、排水、土壌等への環境負荷物質排出を抑制し、環境汚染のリスクを防止する。
- (4) 環境マネジメントシステムの運用を通じ、環境保全活動の目的・目標及び推進計画を策定して実行するとともに、定期的あるいは不具合を生じた場合は見直しを行う。
- (5) 当社の環境活動を伝えることや地域社会への環境活動を行うとともに、方針及び環境活動について役員、従業員、構内で働く全ての人々に周知徹底し、各々の従業員の環境保全に対する責任や役割が理解されるように教育・啓発を行う。
- (6) この方針は、パンフレット等により一般の人々にも入手可能とする。

2010年10月 1日

パナソニック ストレージバッテリー株式会社

取締役社長



環境負荷削減の取り組み事例
創エネルギー&蓄エネルギー



「独立型電源システム(ライフ・イノベーション・コンテナなど)」
太陽電池と当社のEV鉛電池を組み合わせ、電源の無い国や地域に電力を供給するコンテナ体型電源システムで、コンテナの中には生活で使用する家電製品を設置し、生活環境を再現した状況で実証試験を続けています。この用途に適したEV鉛電池の研究とシステムのレベルアップに取り組んでいます。

省エネルギー(CO₂排出量削減)対策



「ヒートポンプ式冷温水機」



「台数制御盤」

「空調機とコンプレッサーの更新」

空調設備を、LPGを燃料とした冷温水機からヒートポンプ式冷温水機へ更新しました。又、ガスエンジン駆動のコンプレッサーから電気コンプレッサーに変更するとともにエア供給圧力を調整するため、コンプレッサーを稼働する台数制御を改良しました。エネルギーをLPGから電気に変更したこと、コンプレッサー圧力制御の改善により、CO₂排出量をさらに低減することができました。

環境コミュニケーション事例



「電池教室」

社会貢献活動の一環として、湖西市内にある6つの小学校の4年生を対象とした「出張電池教室」を毎年6月に実施をしています。電池教室では、電池の歴史や知識を始め、手作り乾電池体験のほか、当社の製品、環境への取り組み、電池のリサイクルについて分かり易く紹介をしました。合計632名の参加があり、興味を持って楽しみながら学習をしていました。



「工場周辺クリーン作戦」

今年は工場周辺と近隣の幹線道路の2回行いました。



「地域ボランティア活動」

毎年6月の環境月間に合わせ工場周辺のクリーン作戦を実施しています。又、年間行事である白須賀海岸や梅田川の流域清掃等、地域主催の活動に私達も毎年参加し、協力しています。



「白須賀海岸清掃」

緊急事態への準備と対応

リスク管理

環境マネジメントシステムにより、各部門毎で使用・管理される設備や化学物質について、環境への影響が大きいものを選択します。地区で定めている基準を基にして考えられる緊急事態を想定し、緊急事態訓練を実施しています。また、工場全体として防災、安全衛生、環境リスクを含めた総合的なリスク管理体制を構築しています。



「緊急事態訓練(総務環境施設チーム)」

排水処理設備におけるpH異常時の対応訓練

「防災訓練」

初期消火訓練、避難訓練を通常勤務(昼間)と交替制勤務(夜間)の時間帯で実施をしました。